

森の公園くらぶ通信 ② 2017. 6. 27

【テーマ】 お砂遊びについて



みなさんは、お子さんとお砂遊びをしますか？

これからさせたい！と思っているママも、汚れるし後が大変そうだから気がすすまないわ…と思っているママも。

一緒にお砂遊びについて考えてみましょう♪

幼児教育の中でもお砂遊びは、ぜひ体験させたい大事なあそびのひとつです。どこかで見たり聞いたりしたことがあるかもしれませんが、

・直接 砂、水、泥などに触れることによって、五感が刺激される

・手指のコントロールの発達を促す



・何かに見立てて遊ぶことで、想像する力や工夫する力が育つ

・同じくらいの、あるいは異年齢の子とふれあい、道具の貸し借りや順番待ちなどを体験することで協調性・社会性を学ぶことができる …などなど

子どもの発達に良い影響が多いと、多くの方が注目し研究され、良い効果がたくさん発表されています。

こんなにいいことがたくさんならぜひとも体験させたくありませんね。

では、にら☆ちびスタッフより、もうひとつのキーワードを…

それは 『ママもできるだけ本気で一緒に楽しんでみる』 です。

実はこのことがすべての根っこに大事なことではないかと思うのです。発達や効果を期待してこどもにだけ「させる」のではもったいないかもしれません。

砂・土に触れることは大人も癒される効果があるのは最近では有名ですね。家庭菜園やガーデニングを趣味にされている方も増えてきています。サラサラした砂、湿った土の感触に、ママ自身が子供の頃にした砂遊びの情景などが浮かんで、懐かしく思う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

童心に帰って、少しだけお子さんの目線で

「サラサラだね」「べとべとしてるね」「おもしろいね」「気持ちいいね」「冷たいね」…感触や感想を簡単に言語化して伝えてみることをおすすめします。

ママと一緒に楽しんでいるとお子さんは安心して、より開放され集中して夢中で遊ぶことができると思います。

そして、あそんでいる間はたくさん汚れます。あーあ…と思わなくもないですよ(笑)。でも実はここがチャンスです。親子で「汚れる」ことへの抵抗感を少なくしましょう。なぜなら… 小さい頃から汚れることに過敏になったり、除菌・殺菌グッズを使いすぎることでこどもの免疫力低下につながったり、ママの清潔志向がいきすぎることでもこどもが潔癖傾向になることもあります。

こどもが潔癖傾向にあると、体験できることが限られてしまいます。

小さいときの豊かな感性でできるだけ自然のもの、場所に触れる経験をたくさんさせてあげたいですね。

お砂で遊んだあとは、「きれいに手を洗っておやつを食べようよ！」とうまく切り上げに声をかけ、お洗濯は洗濯機様とお天道様におまかせして…

親子で今しかできないお砂遊びを思いっきり楽しみましょう♡

